

参加者の声

- ☆ 福井先生のお人柄が会全体をアットホームな雰囲気にしてくださっていて楽しかった
- ☆ 考えていたよりも柔軟な働き方もできることを知り面白かったです
- ☆ 先輩がどうされていたか具体的に聞いた
- ☆ 医師としての多様な生き方を考えるきっかけになった
- ☆ 他の参加者から、自分の知らない知識(実際に結婚した医師がどのように子育てをされているかなど)を学ぶことが出来た
- ☆ 自身に起こりうる事態についていろいろと話し合うことができた
- ☆ 自分ではあまり考えなかった意見も聞いた
- ☆ もう少し時間が長ければ、より深く話合えたのではないかと思う
- ☆ 昨年までよりも参加人数が多くてよかった
- ☆ ビデオ通話だったため長距離移動をする必要が無く、負担を感じずに参加できたのが良かったです

MenJoyプロジェクト

2020

(第4回兵庫県の地域医療を担う医師・医学生のための男女共同参画研修会)

活動報告書

【主催】

公益社団法人 地域医療振興協会 兵庫県支部
神戸大学大学院医学研究科 地域医療教育学部門

日時：令和2年10月17日(土) 10時30分～12時00分
(情報交換会12時00分～13時00分)
場所：オンライン開催 (zoomミーティング)

連絡先：神戸大学大学院医学研究科 地域医療教育学部門

〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター

TEL 078-382-6732 URL <http://www.med.kobe-u.ac.jp/dcme/>

We are all looking for the best future

地域には地域の課題がある。

挨拶

MenJoyプロジェクトは2017年から始まり、今年で4年目となります。2018年6月には働き方改革関連法案が可決されました。しかし、厚生労働省の「医師の働き方改革に関する検討会」ではまだまだ課題が山積みです。働き方はまさしく現場の問題です。地域で勤務している、または将来勤務する医師・医学生自身が、働き方を見つめ直し、共に議論する場が必要と考えています。

MenJoyプロジェクトの目的

ライフステージにおいて、子育て・介護・自身の病気など様々な問題に直面します。いきいきと仕事をしてキャリアを豊かなものにしていくためには男女お互いの協力が大切です。地域医療の現場で働く上での課題や悩みを明確にし、その解決策について議論します。

※ MenJoyとは：男性医師(Men)と女性医師(Joy)が共に

楽しみ(enjoy)ながら働くことを意味した造語です。



MenJoyプロジェクト2020の概要

- | | |
|-------------|--|
| 10:30 | 開会挨拶 |
| 10:35 | 講演「私のキャリアパス～県養成医から米国留学に至るまで～」
福井 美保先生
(Research Scholar Minneapolis Heart Institute Foundation
Cardiovascular Imaging Research Center and Core Lab) |
| 11:05 | グループセッション「夫婦ともにキャリアを形成していくために」 |
| 11:55 | 閉会挨拶 |
| 12:00-13:00 | 情報交換会 |

講演

兵庫県養成医師制度のOG医師である福井美保先生にご講演いただきました。義務年限中に勤務された地域や病院での、様々な苦労や楽しかった経験、具体的な課題の乗り越え方などを、後輩医師たちへの熱いメッセージと共に共有していただきました。また、義務年限満了後、母校の兵庫医科大学へ戻られ、現在の米国留学に至った過程、そして米国での研究や生活環境に関するご紹介いただき、兵庫県養成医師の義務年限満了後にある、多様な働き方の一つのモデルをご提示いただきました。福井先生のお人柄が溢れた講演であり、終始和やかな雰囲気でした。

グループセッション

zoomミーティングのブレイクアウトルーム機能を用い、3つの小グループに分かれてディスカッションを行いました。今年は、結婚を契機に生じる、自身と配偶者のワークライフバランスにおける課題をテーマに、事前にシナリオが用意されました。夫婦ともに仕事を続けていくために、潜んでいる課題を列挙し、それらの課題に優先順位をつけ、優先順位の高い課題から順番に解決策を話し合っていました。お互いの勤務地間の距離、専門医プログラムの修了要件、出産・育児、家事などといった課題が挙げられました。なかなか優先順位のつけ難い課題ばかりですが、あえて優先順位をつけることで、自分が今、何を重視しているのか、改めて考えてみていただく機会となりました。また、それぞれの課題に対して、具体的な解析策が提案されていました。人それぞれ、価値観や生活、働き方が異なる中で、完全な課題の解決方法は存在しません。各グループで課題を抽出し、解決していく方法を体感・模索していただきました。

情報交換会

情報交換会の時間は米国では深夜でしたが、福井先生にもご参加いただきました。米国の働き方やシステムなど、講演からさらに掘り下げた内容のお話を共有いただきました。後輩思いの福井先生が、参加者の率直な悩みの相談に乗る場面も見られました。情報交換会を通して、様々な悩みを気軽に相談することができたのではないかと思います。講演に引き続き、情報交換会も終始和やかな雰囲気、あっという間に時間が過ぎてしまいました。